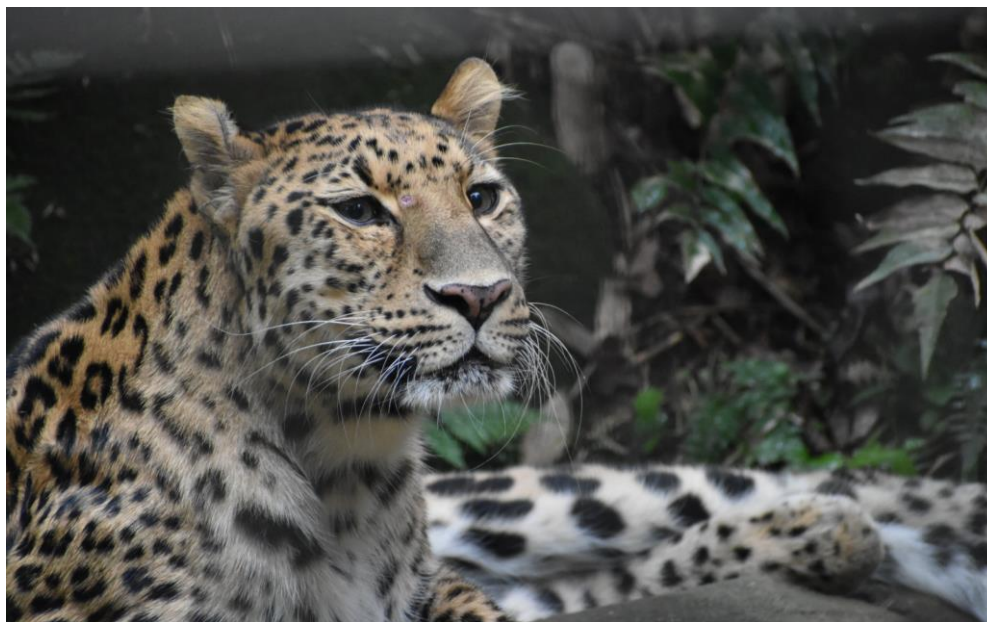


よこはま動物園ズーラシア アムールヒョウの「ダッシュ」が死亡しました



「ダッシュ」

よこはま動物園で飼育していたアムールヒョウの「ダッシュ」が死亡しましたので、お知らせします。

○アムールヒョウ「ダッシュ」

- (1) 性別 オス
- (2) 出生日 平成20年11月12日(14歳)
- (3) 死亡日時 令和5年10月23日(月)午前8時30分死亡確認
- (4) 死因 慢性腎不全
- (5) 経過 定期的を実施している採血により、令和5年7月頃から腎機能が低下していることが判明しました。判明してからも大きく体調を崩すことはなく、元気に過ごしていましたが、令和5年10月7日頃から食欲が不安定になり、14日にはエサを受け付けなくなりました。経過を観察しながら対処していましたが、10月23日死亡を確認しました。

●ダッシュのプロフィール

平成20年11月12日に広島市安佐動物公園で3きょうだいで生まれ、平成23年6月によこはま動物園に来園しました。3きょうだいは「ピン(現在は福山市立動物園)」「ポン(現在は大牟田市動物園)」「ダッシュ」という個性的な愛称で親しまれていました。ゆったり堂々としている姿が印象的で、特に展示場の洞穴で寝るのがお気に入りでした。来園以来約10年間、アムールヒョウの魅力的な姿をみせてくれました。



指定管理者：(公財)横浜市緑の協会

お問合せ先

よこはま動物園 副園長 久保 良法 Tel 045-959-1298

【参考資料】

■アムールヒョウについて

和名	アムールヒョウ
英名	Amur Leopard
学名	<i>Panthera pardus orientalis</i>
分類	食肉目 ネコ科
分布	ロシアの沿海地方
生態	アムールヒョウはロシア沿海地方（中国、北朝鮮との国境付近）のタイガの森にあるケドロバヤ・パシ自然保護区に生息しています。最も北に分布するヒョウの仲間で、体長も最大級です。寒い地方に適した長くて厚い毛をもっています。夏毛は赤味がかかった黄色、冬毛は明るい黄白色です。かつていた、中国北東部や朝鮮半島からは、森林破壊や乱獲で姿を消し、ケドロバヤ・パシ自然保護区でも、ロシアと中国の国境紛争で有刺鉄線がはられ、アムールヒョウや獲物である草食動物の行き来が絶え、食料不足となり、現在、野生での生息数は数十頭ほどと絶滅が心配されています。
ワシントン条約 (CITES)	附属書 I : 絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	絶滅危惧 IA 類 (CR) : ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
当園飼育頭数	1 頭 (オス 1 頭) ※今回死亡した個体を含まず
国内飼育園館	10 園館 17 頭 (オス 7 頭、メス 10 頭) ※令和 4 年 12 月末現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人 800 円、中人・高校生 300 円、小・中学生 200 円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18 歳以上 2,000 円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1 ※臨時開園あり
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 15 分、JR 横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 18 分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約 1 時間
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町 1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000